

文の中で、

「だれが(は)」「何が(は)」「に当たることばを主語、
「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばを述語
といいます。



【もんだい】 つぎの 文の 主語を ○でかこみ、述語に——を引きましょう。

(れい)

かえるくんは

まどから

のぞきました。

① お兄さんが ケーキと まんじゅうを 食べる。

② 学校の たいいくかんは とても 広いです。

③ かえるくんから お手紙を もらって、がまくんは よろこびました。

④ 四日たって、かたつむりくんが がまくんの 家に ようやく つきました。

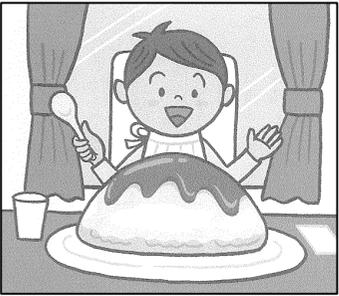
⑤ みんなが つかっていた ーりん車がかたづけられずに のこされています。

ヒント
 まずは、述語をさがしましょう。
 その次に、述語の
 「だれが(は)」「何が(は)」にあてはまる主語をさがすと見つかりますよ。

話すときや 文を書くときは 主語と 述語が あいことばに したわるように 気を
つけることが たいせいです。

【もんだい】 つぎの 絵に あらわされているようすを 文に してみましよう。

※ 主語と 述語を かならず 書きましよう。



Blank writing area with a dashed line for the main text and a solid line for the subject.

教科書下P29 「修飾語を使って書こう」では、文の中で「何が(は)」「だれが(は)」「どこだる言葉の主語、」「いつした(いつする)」「どんなだ」「なんだ」「どこだる言葉は述語、」「どんな」「どの」のよう、「、」「文の意味をへわへわする言葉は修飾語」という学習を行いました。教科書で確認しながら、次の問題に答えましょう。

① 次の文の主語と述語を、() に書き出しましょう。

(1) 先週、ぼくは、友だちと 児童センターに 行った。

主語 () 述語 ()

(2) にぎやかな 音楽が 遠くから 聞こえる。

主語 () 述語 ()

(3) 白い ねじが、公園の ベンチの 下に いる。

主語 () 述語 ()

② 丸山さんは、次の文章の——部(ア)と(イ)の文について、言葉の使い方を確認しています。

ひかりスーパーでは、ちらしでせんべんした商品が、「おすすめ品」として売られています。おすすめ品には、そのきせじがいちばんおいしいやさいや、行事に合った食べ物などがあります。おすすめ品は、ひかりスーパーにとつてもっともお客様に売りたい商品なので、置き場所にくふうをしているそうです。

(1) 部「売られていきます」の主語とついで適切なものを書き出しましょう。

□

(2) 部「もっとも」はどの言葉へわしていらいますか。適切なものを書き出しましょう。

□

③ 下の写真の様子を、修飾語を使ってへわへわ書き出しましょう。

□



- 【1】 次の文章から【ア】で示す文の成分をすべて選び、記号で書きまじよう。

ア 疲れたが、イ ぼくは、ウ 入ったねなかつた。エ ちい、オ 練習を頑張ろう。

① 【主語】

② 【述語】

③ 【修飾語】

④ 【接続語】

⑤ 【独立語】

- 【2】 次の各文の文節ごうしの関係を次のア～カの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 主・述の関係	イ 修飾・被修飾の関係	ウ 接続の関係
エ 独立の関係	オ 補助の関係	カ 並立の関係

- ① 学校への 坂道は 長く ゆるやかだ。
 ② 新しい 筆を 使って みる。
 ③ 降って いた 雨も 急に やんだ。
 ④ 桜が 美しいので 撮影した。
 ⑤ 雪で 道は 真っ白に 染まった。
 ⑥ やあ、久しぶりだね。

- 【3】 次にあるのは、「将来の夢について書いた文章」の下書きを見直して、書き直す必要があると考えた文の一部です。各文を文節のつながりに気を付けて書き直しましょう。また、書き直す意図として最も適切なものをあとから選び記号で答えなさい。

- ① 私はとても先輩が一生懸命練習している姿を見て感動しました。



「意図」

- ② 私の夢は多くの人に希望を与えるアスリートになりたいと思っています。



「意図」

- ア 接続する前後の関係が正しく対応するようにした。 イ 修飾・被修飾の関係が明確になるようにした。
 ウ 指示する語句が何を指すが明確になるようにした エ 主語と述語が正しく対応するようにした。

① 次の①から⑩の1線部分の単語を、助詞と助動詞に分け、その番号を□に書きましょう。

- ① 鳥が飛ぶ ② すべへに答えらるる ③ 運動をする ④ 雪が降らない
 ⑤ 話せば、わかる ⑥ 寒いが、がまんする ⑦ 字を書かせぬ ⑧ 作品が完成した
 ⑨ 先生に話す ⑩ 風邪を引いて、学校を休む

助詞く活用をしない付属語。

助詞は、自立語の後に付いて、さまざまな意味を
 付け加えたり、語句と語句の関係を示したりする。

助動詞く活用する付属語。

助動詞は、用言・体言や他の助動詞などに付いて、意味を付
 け加えたり、話し手・書き手の気持ちや判断を表したりする

② 次の①、②について、例文の1線部分と同じ使い方のもはどれですか。最も適切なものを、あとの1～4までの中から一つ選んで、その番号に○を書きましょう。

- ① 友達に助けられる。 ② 先生を呼びに行った。
 1 先生が戻って来られる。 1 姉はピアノストになった。
 2 自分で服が着られる。 2 図書館へ本を借りに行った。
 3 春の気配が感じられる。 3 時間を間違えて、父にしかられた。
 4 とりの犬にほえられる。 4 午後五時に、家に着いた。

③ 次の□内の会話は、外国からの留学生メグが同級生にした自己紹介の一部分です。話を通じるように適切な助詞を補い、漢字と平仮名で書き換えましょう。(「アニメ」はカタカナでよ
 す。)

ワタシ ニホン アニメ ダイスキデス。
 キノウ ワタシ アネ ダイスキナアニメ エイガ ミマシタ。
 アニメ ハナシ タクサン シマシヨウ。

1 お礼の手紙の文章をていねいな言葉に直しましょう。

若葉のさわやかな季節になった。山田さんは元気か。先週、見学でお世話になった、北山小学校四年一組の石川あかりだ。

この間、お店のことについて、くわしく教えてくださり、本当にありがとうございました。商品のならべるところやお店の裏側を見せていただいたので、とてもよく分かった。クラスで発表したら、みんなおどろいていた。

これからもお体に気をつけて、お仕事をつづけてね。
さようなら。

五月十八日

山田様

石川 あかり

Blank writing area with vertical lines for the student's response.

教科書P103「敬語」を教科書で確認しながら、次の問題に答えましょう。

① 次の文の——の言葉を敬語に直しましょう。

- 母は、来週の水曜日に学校に来ると申していました。 ()
- 校長先生が、私たちのクラスの劇を見ることになった。 ()
- お客様から、お菓子をもらった。 ()
- お客様が、食事を食べる。 ()

② 家に帰って、明日の社会見学を持ち物について分からないことがあることに気付きました。そこで、先生に教えてもらおうと、学校に電話をかけたら、教頭先生が電話に出ました。あなたなら、どのように話をしますか。文章を直しましょう。

五年〇組の〇〇だよ。明日の社会見学の持ち物について聞きたいから、△△先生いる？



③ あなたは、どんな相手に対して、どのようなときに敬語を使いますか。思い出して書いてみましょう。また、敬語を使うことの方法は何でしよう。

どのような相手

どのような時

敬語を使う方法

「表現の技法①」からたちの花

小学校五年生

P94

教科書P94「からたちの花」は、二行ずつの連に分かれており、第一連から第六連までで構成されている詩です。教科書で確認しながら、次の問題に答えましょう。

① 五音・七音のリズムや言葉のへり返しを意識して、「からたちの花」を声に出して読みましょう。

② 「からたちの花」は、さまざまな表現の技法が使われています。次の二つの技法を見つけ、〈例〉にならって、一しずつ書きましょう。

【技法①】くり返し（反復）

同じ言葉をくり返すことにより、様子や気持ちを強く伝える効果があります。

〈例〉 第一連 白い白

第 連

【技法②】たとえ（比喩）

ものごとを、ほかのものにたとえて表現することにより、分かりやすく伝えたり、生き生きした印象を与えたりする効果があります。

〈例〉 第二連 針

第 連

③ 「たとえ」を使ったり、同じリズムをくり返したりすることによって、どのような印象を受けますか。自分が感じた「からたちの花」のよさを書きましょう。
※「たとえ」や「へり返し」以外のよさを取り上げて書いてみましょう。

Three horizontal dashed lines for writing.

【参考】



【からたちのまるい実】



【からたちの白い花】

「表現の技法②」

人を引きつける表現

小学校六年生

P204

教科書 P204 ～ P207 「人を引きつける表現」は、読み手を引きつけるための表現の技法について考える学習です。教科書で確認しながら、次の問題に答えましょう。

① 次の文には、比喩（ものごとを、他の似ているものに例える表現）が使われています。例にならって「何を」「何に」たどえているかを答えましょう。

(例)	長い時間、外にいたので、手が氷のように冷たくなった。	何を	手に
①	彼は、クラスの中でも太陽のような存在だ。	何を	何に
②	太郎は素早く泳いだ。それはまるで魚のようだった。	何を	何に

② 次の文章を読んで、表現の工夫を見つけ、それぞれ比喩表現には――（ぼう線）、繰り返しの表現には――（二重線）、擬声語には――（点線）を引きましょ。

ぼくは、昨日、サッカーの試合に出ました。初めてのポジションだったので緊張して胸がドキドキしました。前半に自分のミスで相手に一点取られてしまいました。今、思い出してもくしゃくしゃしてく仕方ありません。後半に入って、新田君が二点取って逆転勝ちしました。新田君の活躍はまるでプロの選手のようにでした。

③ 教科書 P83 ～ P91 「森へ」には、読み手を引きつけるための表現技法が多く使われています。「森へ」の中から表現技法が使われている一文を見つけて、書き写しましょう。また、その一文に使われている表現技法から自分がどう感じたかを書きましょ。

自分が見つけた表現技法

どのように感じたか



「表現の技法③」をまぎまな表現技法 中学校一年生

1 次の文章を【 】で示す表現技法を使って、書き変えてみましょう。ただし、加える言葉は、最小限にするよう。

白い雲が、空に浮かんでいる

例【比喩（直喩）】 綿あめみたいな 白い雲が、空に浮かんでいる

【倒置】

【体言止め】

【反復】

【対句】

【省略】

2 「みのり」の詩の——線に使われている表現技法の名前は何か。答えなさい。

3 ——線の技法の効果を、詩の言葉を使って説明しなさい。次の条件に従って答えなさい。
・技法の一般的な効果を指摘してから、その効果がどのように発揮されているか書けいじや
・詩の言葉を引用し、一文で書けいじや

みのり

まなつのひかりを

うけとめて

じよい かぜにも

まけないで

ゆっくり じっくり

たくわえる

まじりまじり

あじや

まじりかなりんにそだじから

